

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第1回 飯野小学校 学校運営協議会 実施報告書

- 1 日 時 令和7年 5月13日(火) 13:30～15:30
(校内参観13時40分～14時15分)
- 2 場 所 校長室
- 3 自己紹介 省略

4 あいさつ(委員長)

地域づくり協会の担当の仕事も終わり、委員長として2年目(委員としては3年目)である。皆さんと一緒に学校をよくしていきたい。

5 協議内容

(1) 令和7年度 学校経営構想について(スライド資料を用いながら)

- ・本年度も知(学力)・愛(人権)・命(体力)・根っこ(基本的習慣)の教育を中心に据えて学校経営を行っていく。学校経営の重点取組の中にも含まれているが、昨年度から引き続き、鈴鹿市が力を入れているのが『非認知能力』となる。目に見えない学力といわれ、自主性を育てていくことになる。子どもにとって大切な力なので、全職員で意識して取り組んでいきたい。また、新規採用の教員が4名。教員の年齢が若くなっているが、その若いエネルギーを持って、子どもたちの居場所づくりをつくっていきたい。

【意見】

- ・愛の部会というネーミングが素敵だと思う。性(生)教育が大事であり、「生きる」という視点で進め、二次性徴や、LGBTQ、人権の学習にも繋げて学習をしてほしい。(藤田)
- ・性教育は系統的なカリキュラムで進めていけるとよい。(古市)
- ・知(学力)・愛(人権)・命(体力)・根っこ(基本的習慣)というネーミングは、飯野小で長く続いている。これからも続けていってほしい。(古市)

→ 承認を得た。

(2) 参観(清掃・5限目)を終えての意見交流

- ・掃除では、6年生が1年生に丁寧に教えていた。6年生に訊ねると、「たいへんです」と言っていた。丁寧に雑巾がけをしていたのが印象的だった。(古市)
- ・1年国語の授業では、先生がわからないことを調べて、書画カメラやスライドで提示していた。ゲームやYouTubeを見る世代だから、視覚可することが大

切であるのだと思った。(松田)

- ・6年生が1年生のことを世話しているのが印象的だった。(富永)
- ・子どもが不登校である。楽しめる力を育てほしい。母としても、学校に関わりたいという気持ち強い。(藤田)
- ・英語の授業で、小学校でやっていたことが中学校に繋がっていく。積み重ねが大事だと思った。(大野)
- ・掃除では、丁寧にできていた。ゴミが取れずにいた2年生を手伝うと、ちゃんとお礼が言えていた。(別所)
- ・入学から1か月だが、1年生が少しずつできるようになっていく。成長を感じる。(大久保)
- ・学校の環境づくりが大事。掲示物が整って張られていたり、壁がきれい。いろいろな子がおり取り組み方は様々だが、それぞれの教室で温かいやり取りが見られる。
- ・先生が丁寧に寄り添ってくれる姿が印象的で、自分の子どもの頃とは、全く違う。3月の卒業式でも先生と児童の関係の良さを感じた。(新原)

(3) 教育支援課 加藤 CSC より

- ①学校長より、学校経営構想をわかりやすく、スライドで委員の皆様に提案していただけた。紙面での内容は昨年度と大きく変わらないかもしれないが、学校長が変わり、提示の仕方が変わり、わかってもらいたいという意志を感じた。
- ②毎回授業参観が設定されているのが飯野小の特長である。飯野小も若手の人材育成が大切になっていく。子どもの成長を楽しみにできる教員であってほしい。その教員を支える学校運営協議会であったほしい。そのために、次回以降、委員から教員へのコミュニケーションを図って、教員の生の声を聴いてほしい。
- ③学校運営協議会の議題は、学校が考えるだけではなく、こんなことを協議しようと、テーマを委員から出してもらおうと、より熟議が深まる。そんな協働型の学校運営協議会を進めてほしい。

6 その他

○学校だよりについて

- ・年間35回(週に1回のペース)を目標に発行していく。

○今年度の学校運営協議会年間スケジュールについて

○学校危機管理マニュアルについて